



# 光 和

5月号  
練馬区立光和小学校  
令和4年4月28日

光和小  
携帯サイト



安全で楽しい学校にするために

校長 矢島 直行

先日の保護者会には、大勢の方々にご参加いただきありがとうございました。新年度がスタートしてからまもなく1か月がたちます。元気に登校する子供たちや友達と仲良く遊ぶ子供たちの姿から、学校生活に慣れてきたことが分かります。

さて、5年生の担任は、4月14日から16日にかけて、岩井に実地踏査に行きました。私は、4月21日から23日にかけて、6年生の担任と軽井沢に実地踏査に行きました。本年度も感染対策に努めながら、練馬区教育委員会の宿泊を伴う校外学習のガイドラインや過去の事例、実地見分した体験などをもとに、移動教室が子供たちにとって安全で楽しく充実したものになるように綿密な計画を立てます。

今回の軽井沢実地踏査では、23名が参加しました。初めて会う人がほとんどでしたが、3日間をとおして楽しく過ごすことができました。なぜ楽しく過ごすことができたかを振り返ってみますと、相手を気遣い、周りに迷惑をかけないことが楽しくさせたように思います。例えば、すれ違ったときに、「おはようございます」「こんにちは」の挨拶や、「ありがとうございます」「お疲れ様です」といった相手を思いやる一言が相手との距離を近くしました。「楽しくするためには、何をしてもよい」というわけではありません。集団で生活するためには、守らなければならないことがあります。互いを思いやる必要があります。

「何かきまりを守らなければならない」と言うと何か窮屈に思う人がいるかもしれませんが、しかし、きまりを守ることが安全で楽しく過ごすことにつながります。このことは私たちの学校生活でも同じです。急いでいるからと廊下を走ってしまうとどうでしょうか。友達と接触した場合危険です。相手をけがさせてしまうこともあります。上級生が走っていると下級生がまねをしてしまうことがあります。

また、友達の靴や上履きが下駄箱から片方落ちていたのに気付いたら元の場所に戻してあげると、見つからなくなって困る人がいなくなるだけでなく、学校の玄関もきれいになり、明るい雰囲気になります。

今、1年生の教室では、感染対策に努めながら6年生がお世話係としていろいろお手伝いをしています。困っている1年生に優しく言葉をかけている姿を見ることができます。学校の中の一場面ですが、相手を思いやる心が仲よく楽しく過ごすことにつながっています。

このようにみんなが集団生活の中できまりを守るとともに互いを思いやり、温かい雰囲気のある、安全で楽しい光和小学校にしていきたいです。引き続き油断することなく新型コロナウイルス感染拡大防止のために、マスクの着用、手洗い、換気、3密の回避に努めてまいります。今後とも皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。